

挨拶を伝統に！

生徒がよく挨拶をしてくれるようになりました。3年生のおかげです。ありがとうございます。「挨拶(あいさつ)」は、教えられ無意識に習慣として実践してきた受け身の姿勢から挨拶の意義などを考え理解し、時、場所、場面に応じて自ら挨拶をしてお辞儀をするなど適切な言葉や行動ができることが求められます。心情面を整えることによって形として外に表すことができるようになることもあります。礼儀の基本は、相手の人格を認め、相手に対して尊敬や感謝などの気持ちを具体的に示すことであり、心と形が一体となって初めてその価値が認められると考えられています。

円地文子(小説家)の「女坂」の中に「登らなければ、登り続けなければ、決して坂の上へは出られないのだ。」という説があります。やりなおいのきかない人生は、坂道だらけでもあります。坂の上に出て、はじめて人生は新たな展開を迎えます。いろいろな困難に遭遇すると思いますが、乗り越えて欲しいものです。

2月7日(月)に公立高等学校推薦入試を受検することができました。2月20日(日)までまん延防止重点措置が発動されオミクロン株の猛威で今までにない新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。濃厚接触者等の特定については、保健所の逼迫からチェックリストを通しての学校判断となっています。この先不透明ではありますが、感染対策を十分に講じて日々、過ごしていくしかありません。「3つの密」を避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」を継続することです。

濃厚接触者等の特定について(対応ガイドライン)

<濃厚接触者等の候補の考え方>

校内の濃厚接触者等の範囲は、感染者の感染可能期間(発症2日前から退院又は療養解除の基準を満たすまでの期間)のうち当該感染者が入院、宿泊療養又は自宅療養を開始するまでの期間において以下の①又は②いずれかに該当する児童生徒等及び教職員とします。

① 濃厚接触者の候補

- ・感染者と同居又は長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つば等)に直接触れた可能性の高い者(1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する可能性がある)
- ・手で触れることの出来る距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なし(※)で、感染者と15分以上の接触があった者(例えば、感染者と会話していた者)

※必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったについても確認する。

② 濃厚接触者周辺の検査対象となる者の候補

- ・感染者からの物理的な距離が近い、又は物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者等(感染者と同一の学級の児童生徒等)
- ・大声を出す活動、呼気が激しくなるような運動を共にした者等(感染者と同一の部活動に所属する児童生徒等)
- ・感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者等(感染者と同一の寮で生活する児童生徒等)
- ・その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等

※学校において上記①②の速やかな特定が困難な場合は、判明した感染者が1人でも、感染状況によっては、原則として当該感染者が属する学級等の全ての者を検査対象の候補とすることが考えられる



性教育講演会(3年生)

お互いの性を尊重し、お互いを思いやる気持ち、思いやる行動ができるような男女関係になることが大切である。



看護出前授業(3年生)

将来看護師になりたいと思う生徒がいる。看護体験を通して看護師の仕事のイメージができれば良いと思う。



2月行事予定



1	火	交通安全指導、私立一般入試(福智、九国付、慶成)、大分県推薦入試
2	水	図書司書来校 私立一般入試(真颯館、自由ヶ丘、敬愛)
3	木	私立一般入試(東筑紫、常磐、柳ヶ浦)
4	金	公立推薦事前指導
5	土	
6	日	
7	月	公立推薦入試、渡辺 SC 来校
8	火	私立一般合格発表、ALT 来校、学年末計画・記録表作成
9	水	ALT, 図書司書来校
10	木	ALT 来校、いじめアンケート
11	金	建国記念日
12	土	
13	日	部活動中止、高専一般入試
14	月	公立推薦内定通知、給食残量調査、ALT
15	火	
16	水	学年末考査(学、技家、国、美)、図書司書
17	木	学年末考査(学、数、社、英)
18	金	学年末考査(学、音、保体、理)
19	土	
20	日	
21	月	渡辺 SC 来校、2年マナー講座、美化コンクール
22	火	志願先変更(26日まで、校内 24日)
23	水	天皇誕生日
24	木	志願先変更メ切(朝)
25	金	1年人権講演会、図書司書来校
26	土	
27	日	
28	月	生徒集会、渡辺 SC 来校、補充学習

学習指導要領の改訂で「使える英語」を習得

上智大名誉教授 吉田研作

日本の英語教育は長い間、文法構造をしっかり学ばせ、身に付けさせることに主眼が置かれ、学習指導要領も文法構造の難易度に沿って組み立てられていました。

それが今回の改定で大きく変わり、英語を使って何ができるかという「CAN-DO」の難易度によって構成されるようになりました。最初に文法や規則を教えるのではなく、まずは児童や生徒自身が英語でコミュニケーションしてみ、英語を使いながら文法や発音の課題を見つけ、改善しようとする。教師はそれをうまく手助けして、英語力を向上させていく、という学びになったのです。

根底にあるのは、文法や言語構造を学ぶことは大事けれども、その習得が第一目的ではなく、コミュニケーションに必要な要素に過ぎない、という考え方です。こうした変化はグローバル化が進んだ2000年ごろから強まり、実践的な英語を身に付ける手段として11年度からは小学5、6年生の外国語活動が始まりました。小学生は今回の改定で、3、4年生で外国語活動、5、6年生で外国語（英語）を教科として学ぶことになりましたが、コミュニケーションを大切にしながら学ぶという原則は変わっていません。

目下の課題は中学と高校の授業改革です。中学や高校の授業は英語で行うことが基本で、ディベートやディスカッションを指導し、英語で授業をうまく進める教員が評価されるようになってきています。一方で「一番大事なのは文法だ」と考える教員もまだ多くいます。今年初めて実施された大学入学共通テストは、リスニングとリーディングの配点が同じになるなど、コミュニケーションの手段であることを重視した内容になりました。テストの変化に伴い、中高の英語教育も速やかに変わっていくことを期待しています。

一昔前と比べると、教室の外でも英語に触れる機会は確実に増えています。授業で身に付けた英語のコミュニケーション力を生かして世界とつながる人が増えていくといいですね。

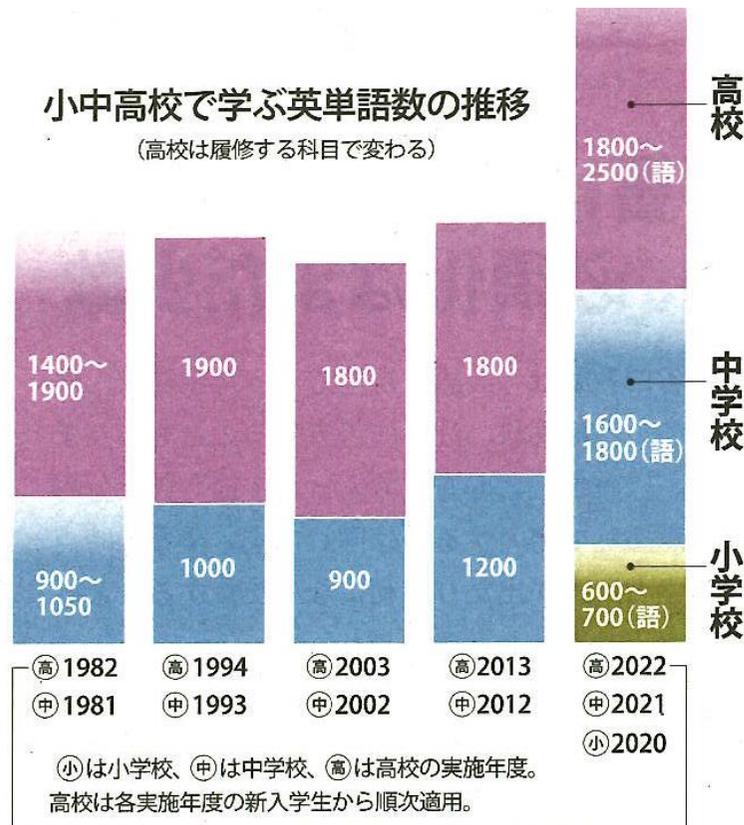


新たな学習指導要領で求められている英語の学び

共通	・「聞く」「読む」「話す(やり取り・発表)」「書く」の4技能5領域を学習
小学生 (2020年度～)	・3、4年生で「外国語活動」 (年35単位時間)
中学生 (2021年度～)	・授業は英語で行うことが基本に
高校生 (2022年度から順次)	・ディスカッションなどを通して発信力を強化する科目「論理・表現」を新設

小中高校で学ぶ英単語数の推移

(高校は履修する科目で変わる)



中央教育審議会

(平成28年12月21日)

「主体的・対話的で深い学び」の実現

○ 外国語教育においては、質の高い学びに向けて、学びの過程を、相互に関連を図りつつ、改善・充実を図ることが必要である。そのような過程で外国語によるコミュニケーションを通じて、自分の思いや考えが深まったり、更新されたりすることを児童生徒が認識し、自信を持つことができるような学習活動を設けることが重要である。

(「主体的な学び」の視点)

・ 「主体的な学び」の過程では、外国語を学ぶことに興味や関心を持ち、どのような社会や世界と関わり、学んだことを生涯にわたって生かそうとするかについて、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自分の意見や考えを発信したり、評価したりするために、自らの学習のまとめを振り返り、次の学習につなげることが重要である。このためコミュニケーションを行う目的・場面・状況等を明確に設定し、学習の見通しを立てたり振り返ったりする場面を設けるとともに、発達の段階に応じて、身の回りのことから社会や世界との関わりを重視した題材を設定することなどが考えられる。

(「対話的な学び」の視点)

・ 「対話的な学び」の過程においては、他者を尊重した対話的な学びの中で、社会や世界との関わりを通じて情報や考えなどを伝え合う言語活動の改善・充実を図ることが重要である。このため、言語の果たす役割として他者とのコミュニケーション（対話や議論等）の基盤を形成する観点から資質・能力全体を貫く軸として重視しつつ、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、他者を尊重しながら対話が図られるような言語活動を行う学習場面を計画的に設けることなどが考えられる。